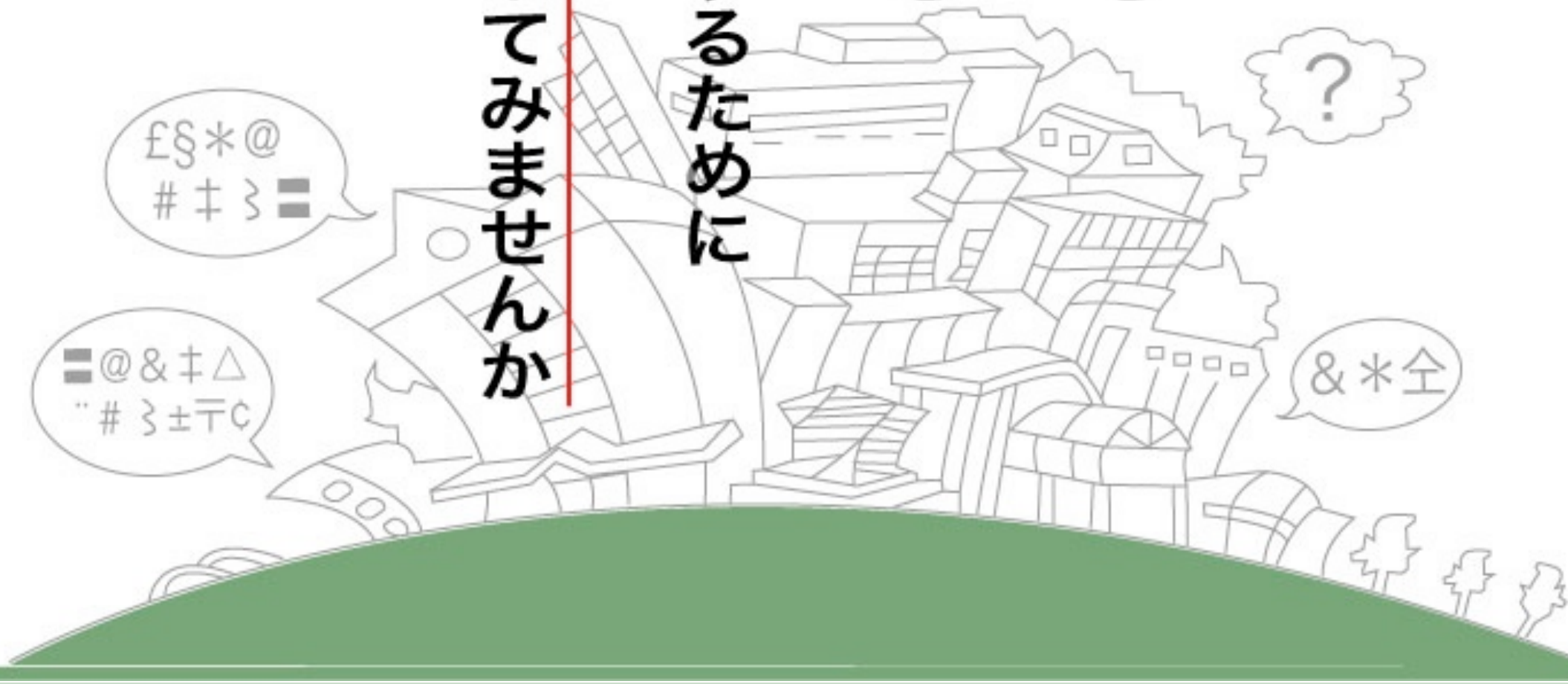


自分の住むまちを

家族の住むまちを

より良いまちにするために

いっしょに行動してみませんか



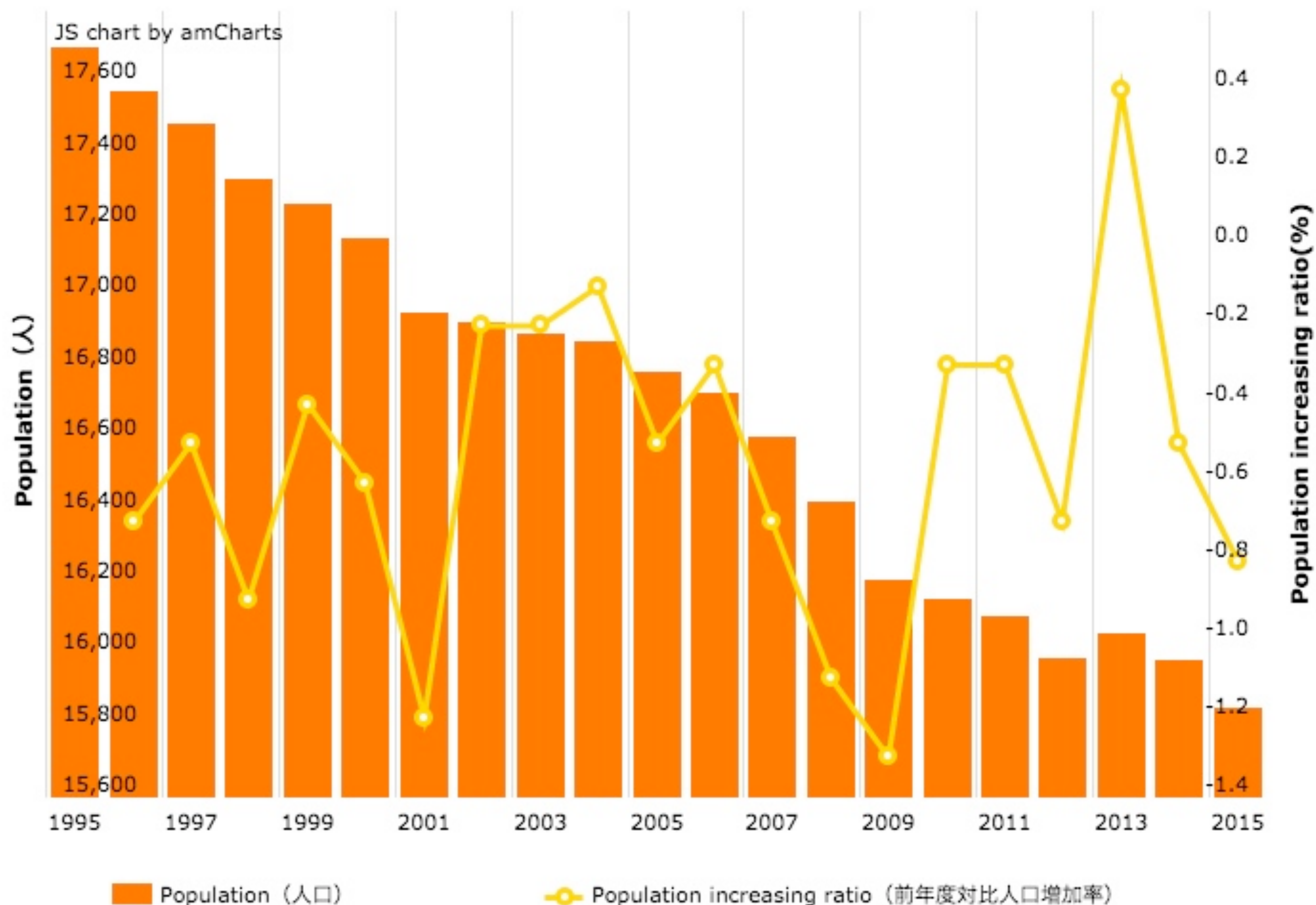
まちづくり構想の 概要について

別海町 総務部総合政策課

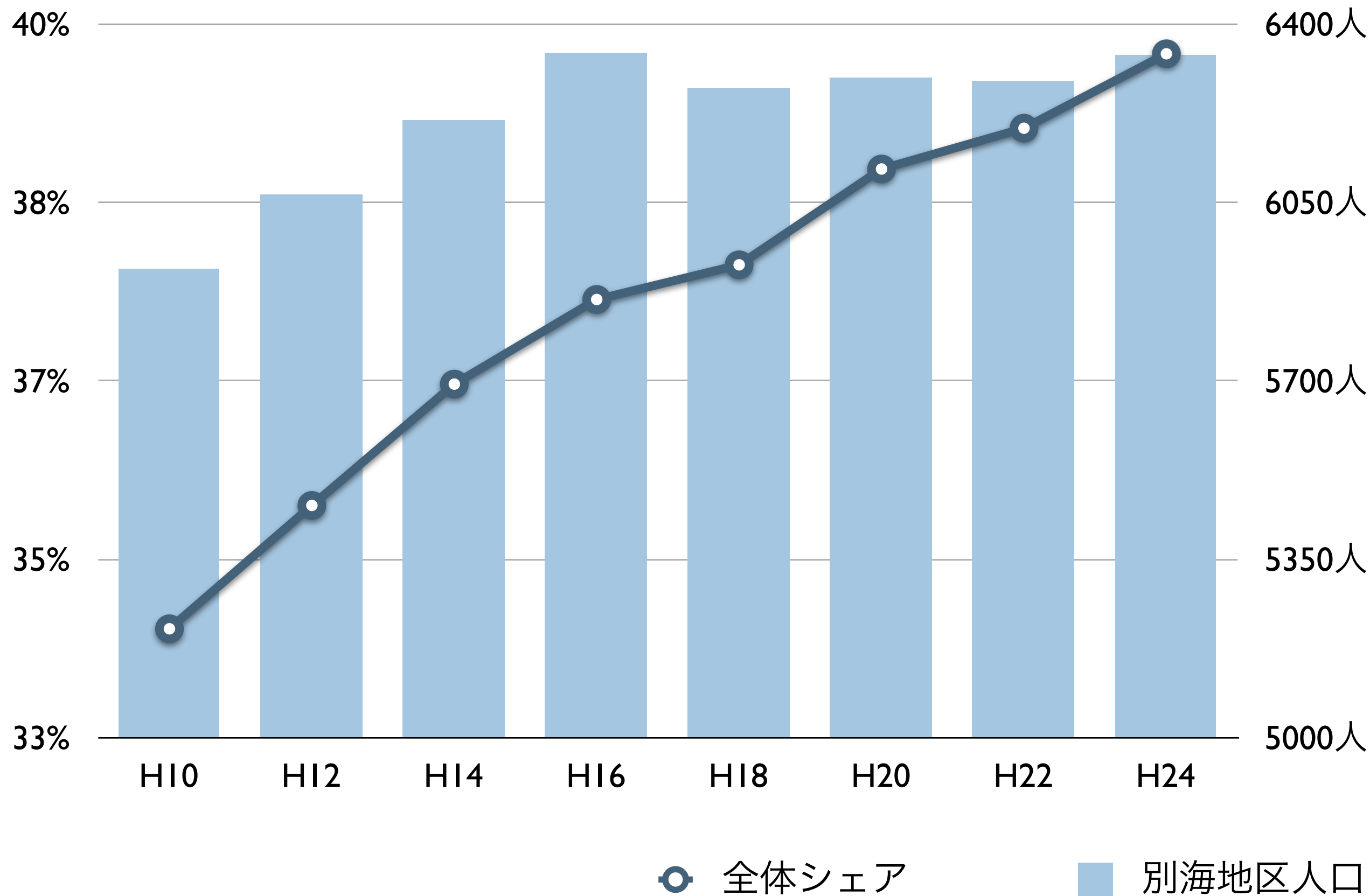
別海町市街地活性化計画

別海地区版の策定

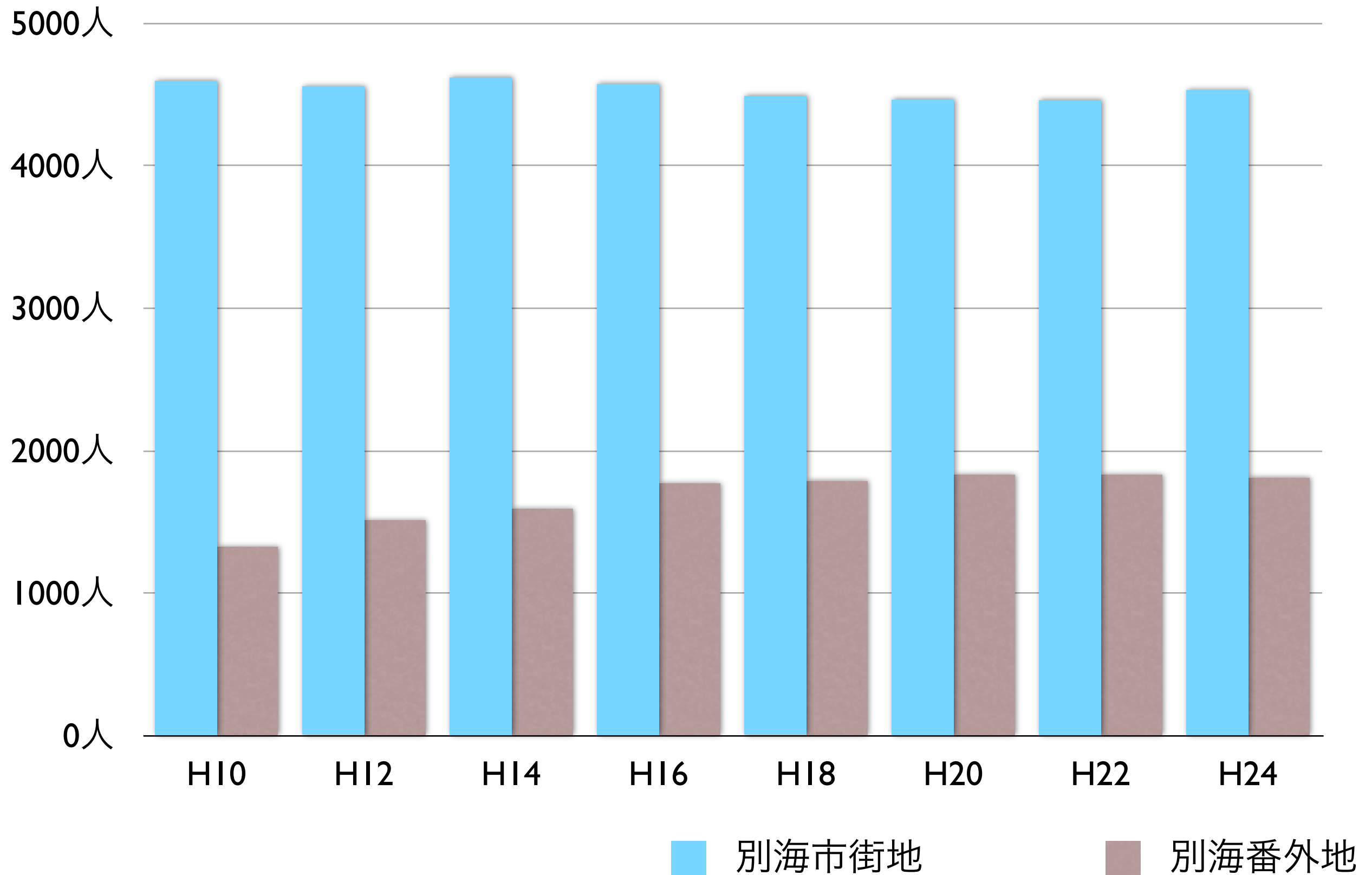
別海町の人口動向



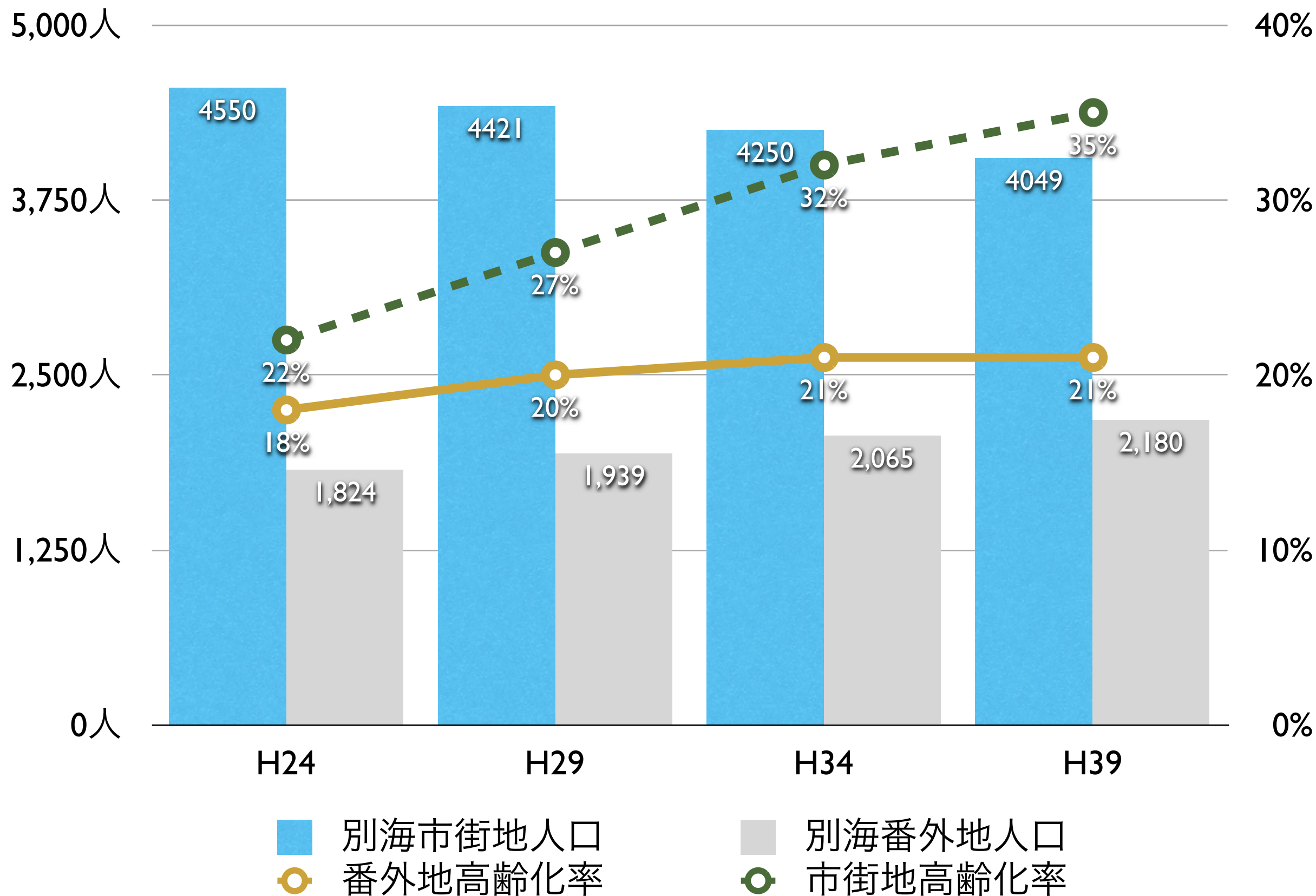
別海地区の人口動向



別海町の人口動向（別海市街地・番外地）



別海地区の人口推計（別海市街地・番外地）

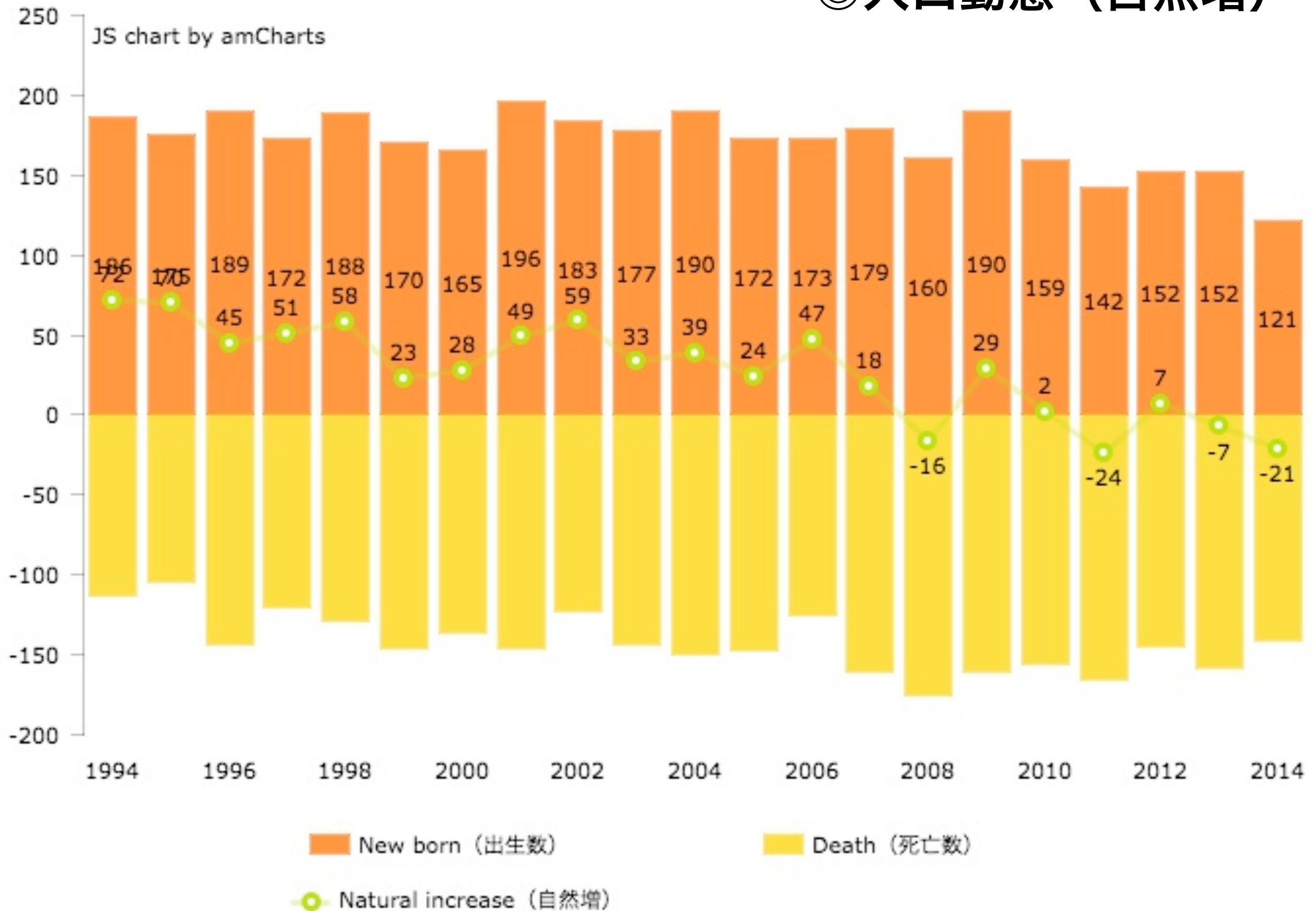


◎主要な生活環境指標

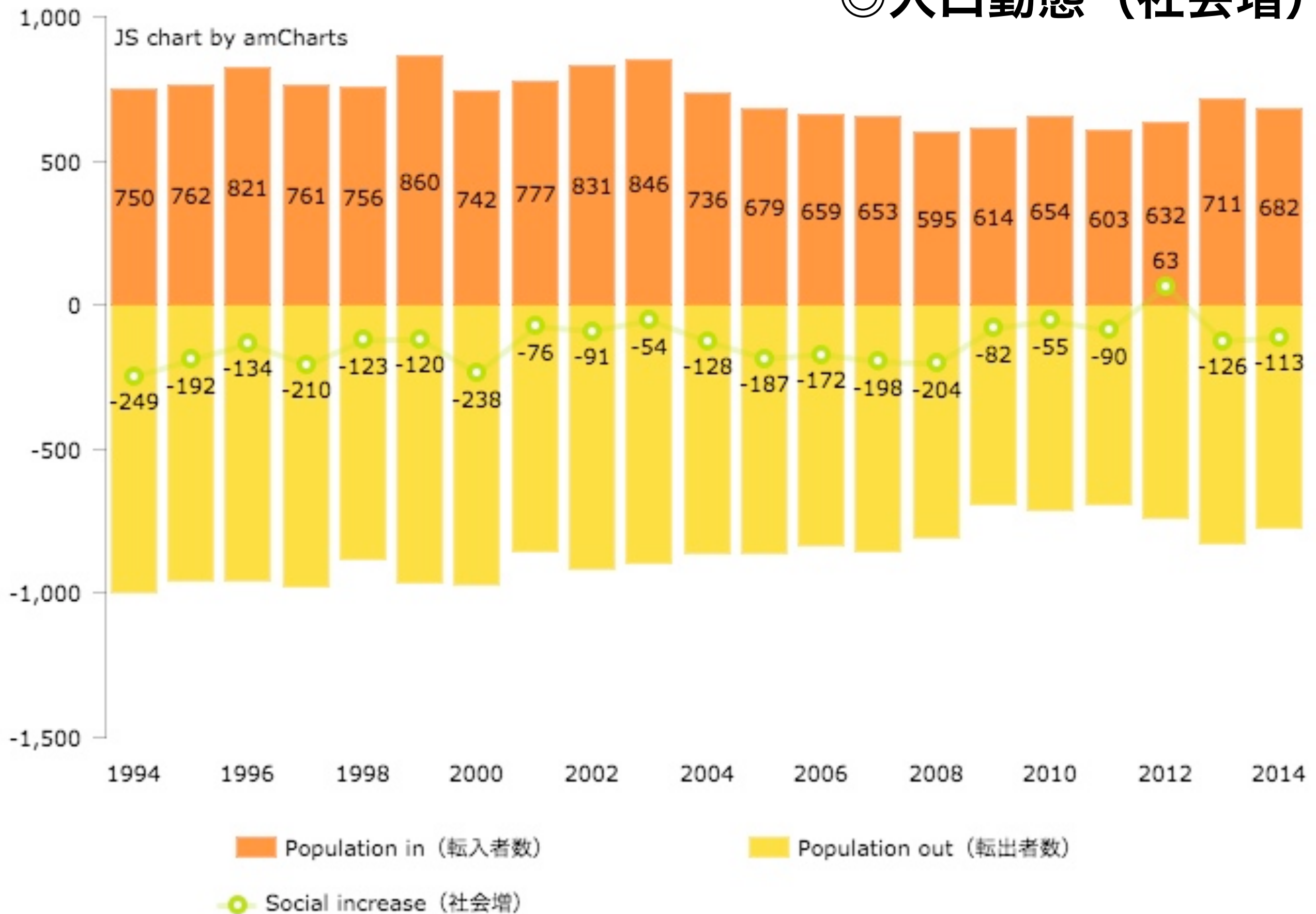
項目	別海町	類似団体	中標津町
課税対象所得	3,085,953円	2,426,012円	2,739,994円
失業率	2.53%	6.15%	6.52%
犯罪発生率	1.91件	5.65件	4.78件
病院数	6.26棟	6.96棟	8.27棟
一人あたり医療費	227,245円	319,867円	271,219円
水洗化人口比率	81.4%	71.7%	84.7%
ゴミ回収人口比率	100.97%	99.90%	100.31%

※犯罪発生率は1000人当たり、病院数は10万人あたりの値

◎人口動態（自然增）



◎人口動態（社会増）



◎主要な生活環境指標

項目	別海町	類似団体	中標津町
課税対象所得	3,085,953円	2,426,012円	2,739,994円
失業率	2.53%	6.15%	6.52%
犯罪発生率	1.91件	5.65件	4.78件
病院数	6.26棟	6.96棟	8.27棟
一人あたり医療費	227,245円	319,867円	271,219円
水洗化人口比率	81.4%	71.7%	84.7%
ゴミ回収人口比率	100.97%	99.90%	100.31%

※犯罪発生率は1000人当たり、病院数は10万人あたりの値

総合計画
アンケート

パブリック
コメント

説明会

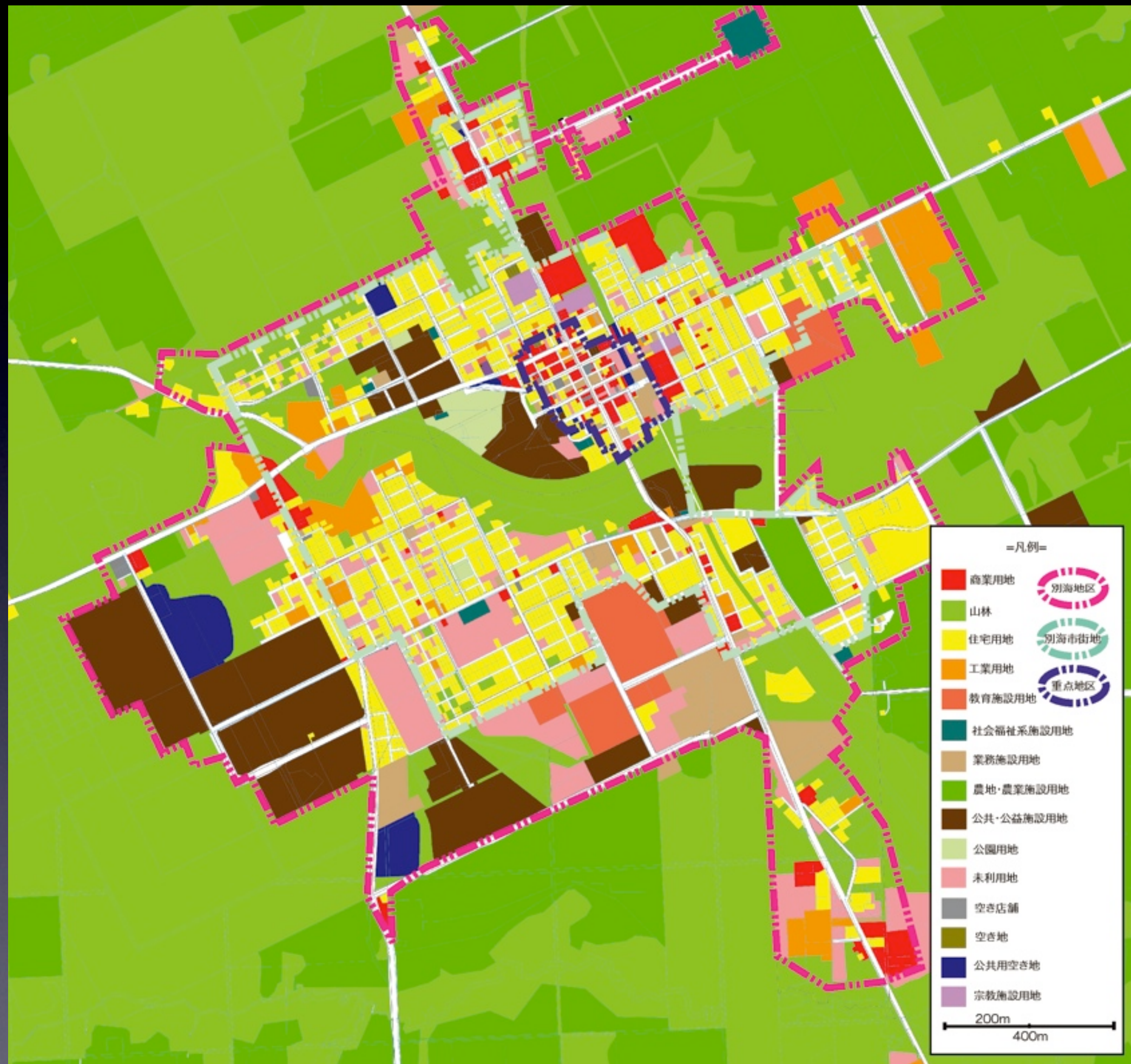
まちづくり
懇談会

学習会



基 本 方 針

豊かな地域生活の持続



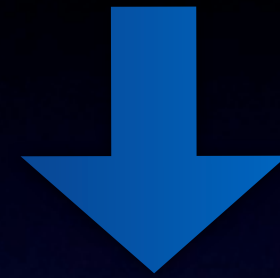
より一層の人口増加を目指し、、、

豊かな地域生活の持続

住民の
生活8欲

便	利
外	見
個	性
親	好
安	心
静	閑
自	然
安	価

博報堂生活総合研究所



○生活の質を高められる内容

中央公民館の建替え

防災機能の充実

コンパクトな市街地形成

公園・児童遊園地の整備

省エネ防犯灯の設置

交通機能の再配置

基 本 方 針

豊かな地域生活の持続

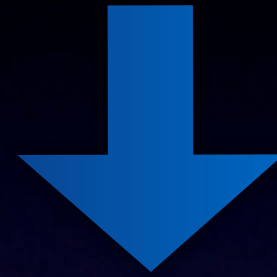
地域活動の主役をつくる

より一層の町民参加のまちづくりを目指し、、、 地域活動の主役をつくる

住民の
生活8欲

便	利
外	見
個	性
親	好
安	心
静	閑
自	然
安	価

博報堂生活総合研究所



○地域活動のススメ

社会教育活動の推進

多様な交流施設の活用

地域活動団体への支援

学習機会の創出・支援

基 本 方 針

豊かな地域生活の持続

地域活動の主役をつくる

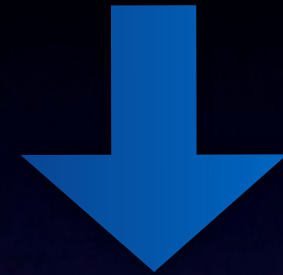
魅力ある商業地域と環境の創出

より一層の重点地区の活性化を目指し、、、

魅力ある商業地域と環境の創出

住民の
生活8欲

便	利
外	見
個	性
親	好
安	心
静	閑
自	然
安	価



○重点地区振興への注力

中小企業等への支援

民間まちづくり団体の奨励

空閑地の解消と適地・適業

おもてなし力の向上

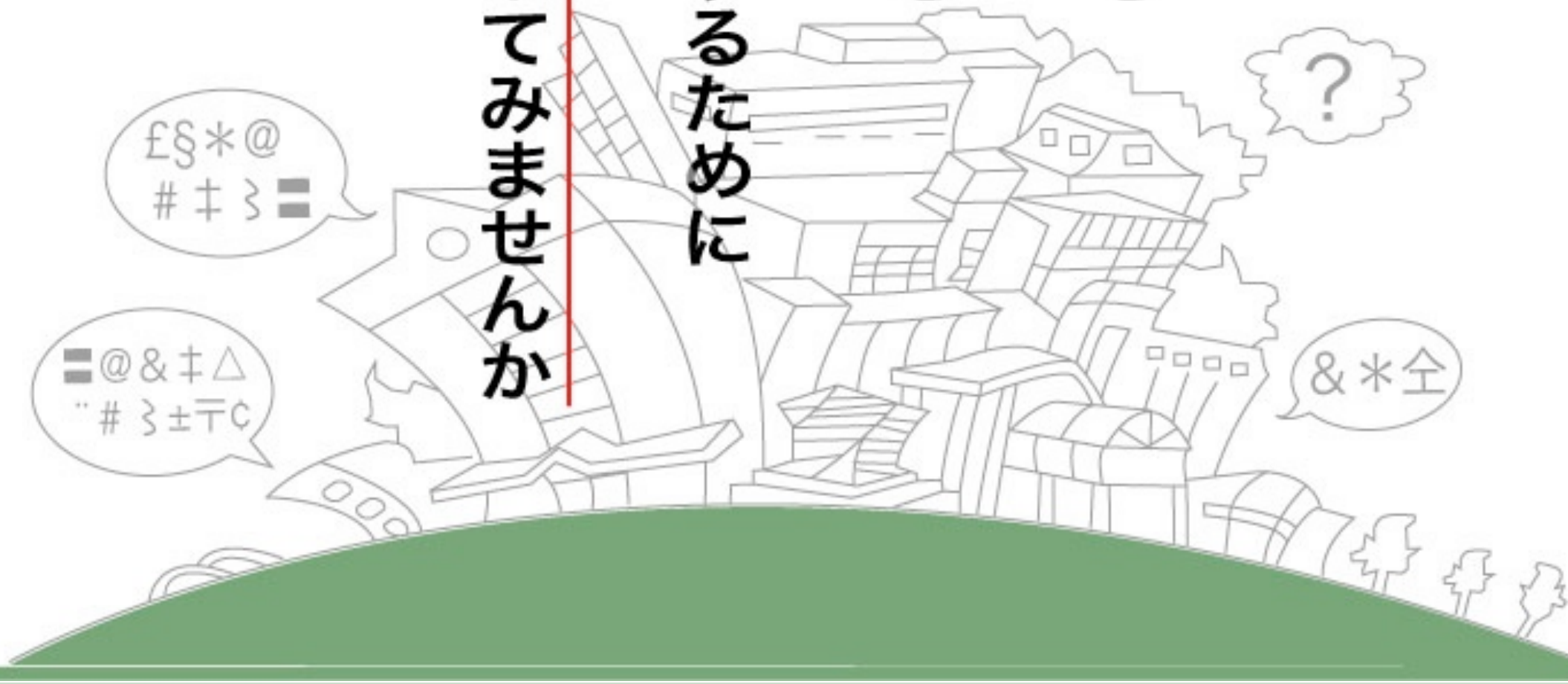
情報発信力の向上と整備

自分の住むまちを

家族の住むまちを

より良いまちにするために

いっしょに行動してみませんか



“市街地活性化計画

から

“矢臼別演習場周辺

まちづくり構想の策定に

経過

関連事項の取り組み状況

総合政策課

- ・ 平成25年8月、「別海町市街地活性化計画（別海地区）」策定に着手
- ・ 同年10月から26年1月、庁内での検討により、計画原案の作成
- ・ 同年2月から6月、計画原案について町民参加機会を用いた検討
- ・ 同年10月、「別海町市街地活性化計画」策定、同年11月、公表

➡ 主要施設である「(仮称)生涯学習センター」の有効な財源を模索

生涯学習課

- ・ (仮称)生涯学習センター建設基本構想策定委員会の設置
- ・ 平成25年12月、当該施設を建設するにあたっての基本構想策定を諮問
- ・ 7回の委員会において基本構想の検討
- ・ 平成26年4月、当該施設建設基本構想が同委員会から答申

➡ 北海道防衛局に生涯学習センター及び学校給食センターについて補助金の協議



防衛「まちづくり事業」

“防衛まちづくり事業

「まちづくり事業は、特定防衛施設関連市町村が、住民の需要及び防衛施設の存在、自然環境、歴史、文化等の特性を踏まえつつ、障害の緩和に資する施設の整備を通じて防衛施設の存在を前提としたまちづくりを行う場合に補助対象となる」

“採択基準

「防衛施設が存在するという地域の特徴を活用し、自衛隊員、米軍人等と防衛施設の周辺地域の住民との文化の交流又は地域における防災等のための活動の促進を企図したまちづくり」

補助メニュー	有利な面	不利な面
防衛/まちづくり	因果関係よりも構想重視 複数施設を一度に計画できる	構想策定に期間を要する 構想時のコンセプト重視
防衛/民生安定	住民ニーズに応じた既存施設の活用	既存施設の改修がメイン 補助率高い
国交省/社会資本	計画期間は1年、以後ローリング ハード・ソフトの両面から展開	補助率低い 内容より成果主義

“防衛まちづくり事業

◎まちづくり構想策定支援事業

事業の調査・計画に対して補助（防衛施設周辺まちづくり計画事業補助金交付要綱）

◎まちづくり支援事業

既存メニューにない施設の整備を大臣認定

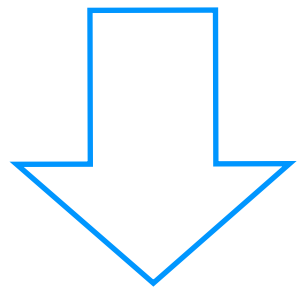
（構想防衛施設周辺の生活環境の整備に関する法律）

事業名	H27	H28	H29	H30	H31	H32
策定支援事業 補助率 90%	基本構想	基本計画	実施計画			
支援事業 補助率 75%				実施設計	施設建設工事	

◎まちづくり構想策定支援事業

H27年度

基本構想

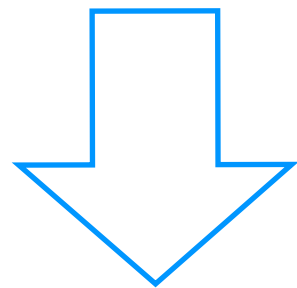


理念や目標などの考
え方を決める段階

- ・ 基礎条件の精査
- ・ 関連計画の把握
- ・ 各種想定事業

H28年度

基本計画

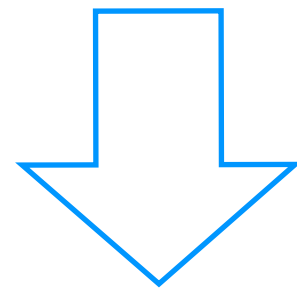


形以外の基本的な事柄
を決める段階

- ・ 施設整備計画
- ・ 管理運営計画
- ・ 利用促進計画

H29年度

実施計画

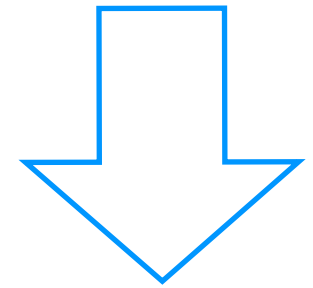


基本的な事柄を動かす
のに必要な内容を決め
る段階

- ・ 運営、収支計画
- ・ 概算設計

H30年度
以降

施設設計



形を決める段階

施設建設は、31
年度からを予定

◎まちづくり構想策定支援事業

1年目 H27年度

まちづくり構想（基本構想）

理念や目標などの考え方を決める段階

- ・ **基礎条件の精査**

まちにどんな課題があるのか、どのような状況にあるのか
統計データや住民懇話会などでの意見

- ・ **関連計画の把握**

総合計画、市街地活性化計画、防災計画、民間団体の意向

- ・ **各種想定事業**

課題解決に向けた方法、しなくてはならないこと
新たなまちづくりに必要な機能

◎まちづくり構想策定支援事業

2年目 H28年度

まちづくり構想（基本計画）

形以外の基本的な事柄を決める段階

- **施設整備計画**

建設場所、施設における機能別の内容、規模など
課題解決に必要な機能を具体化する

- **管理運営計画**

施設を運営するのに必要な体制、経営的な資金

- **利用促進計画**

施設内での利用者の想定と自主事業の想定

まちづくり構想補助条件である交流や防災を進める内容

◎まちづくり構想策定支援事業

3年目 H29年度

まちづくり構想（実施計画）

基本的な事柄を動かすのに必要な内容を決める段階

- 運営、収支計画

その施設で具体的に何を提供するのか、各年度毎に複数年の内容を具体的にしたもの、事業実施計画

- 概算設計

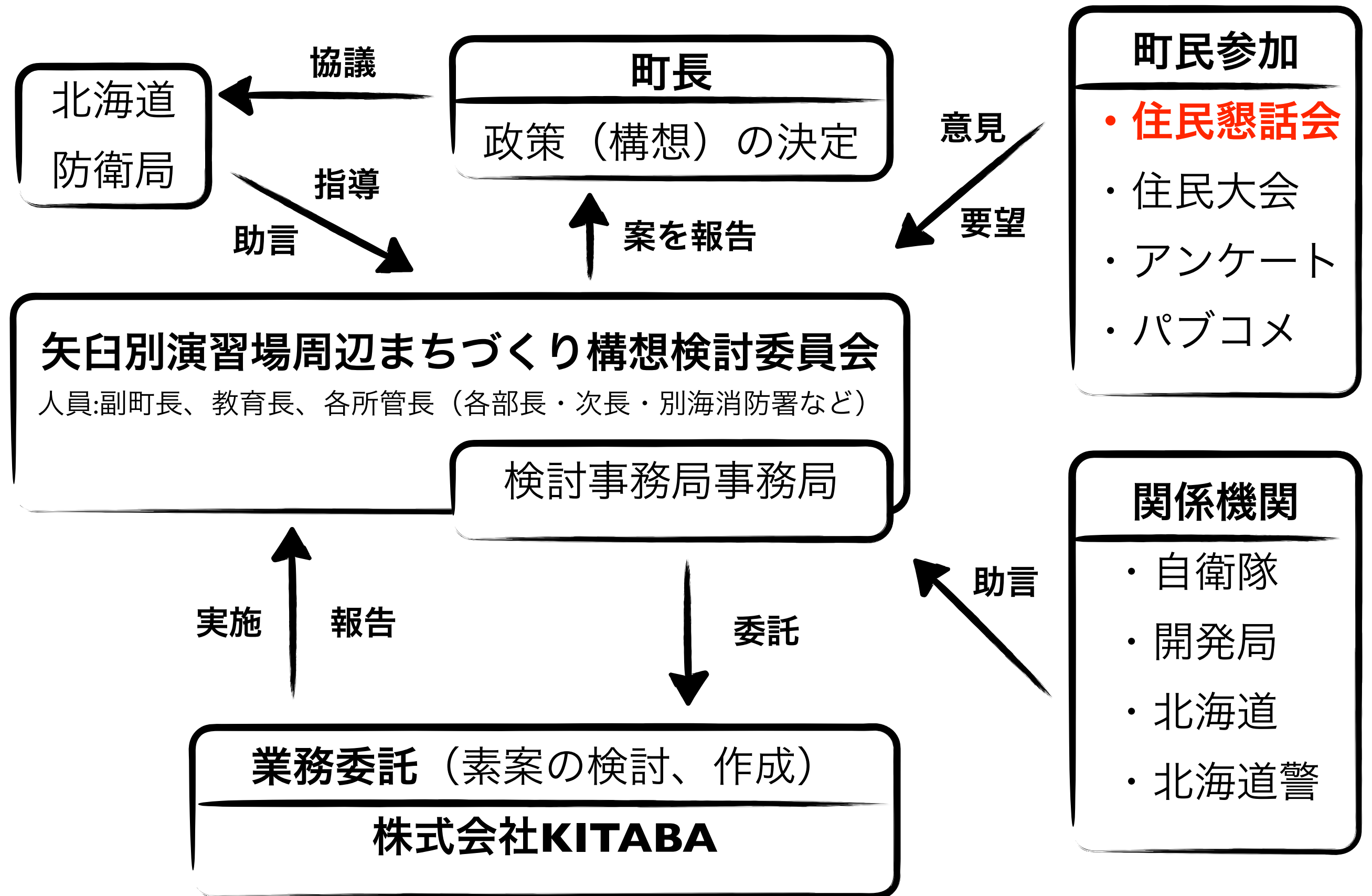
条件に合うように機能を決定し、図面・仕様を作成する
施設工事費の大まかな金額の確定

矢臼別演習場周辺

まちづくり構想

“検討体制”

“まちづくり構想検討体制



矢臼別演習場周辺まちづくり構想

防災

道路

住宅

公民館

商店街

